

笑福亭

たまたま

沈黙は金
笑福亭たまたま

の向こうのお客さんだけにだけ向けて落語をする」と面白い。どんないろんな演出が思い浮かんできた。まだ手つかずの広大な土地が残ったみたい。配信落語の商品化に成功しつつあります。

アイデアが素晴らしい。「そんな手があったか！」って思います。でも落語を画でどう見せるかを考え、コマ割りで絵コンテを描いたり、恐ろしく手間のかかる作業ですよ。それを生で見せる。

たまた、そうでもないんです。わかったら全部一緒やから。やる前に一回やったら大体もうできる。

具体的な演出例を教えてください。たまた「大声を出すシーンでは、カメラを前後に揺らすと画面がガチャーンとみたくになって、凄いがいるように見える」「芋俵で俵の中の盗人が転がされてる時に、顔のアップのまま、カメラを回す事で転がされてる盗人を表現」「覗いてるシーンでは、自分の片目(目玉)をアップにしながらかくと、覗いてる



今月のお客様は上方落語界より、笑福亭たまたま師匠です。東京をはじめ全国で落語会を開催し、コロナ禍のさなかにはじめて配信落語会も好評です。独自のショート落語や新作、古典をも様々な工夫で観客を爆笑の渦にまきこみます。斬新な演出を施した映像落語も編み出しました。複雑な事象を理路整然と読み解くたまたま師匠に、いま考えていることを率直に語っていただきました。

撮影：武藤奈緒美 聞き手：佐藤友美

配信落語の革命

オンライン配信の「笑福亭たまたま ZOOM自宅落語会」を拝見し、その斬新さに驚きました。ライブを再開する方も多いなか、今も続いていますね。

たまた、最初は「普通にやったら配信は生に絶対負ける」って思ってたんですよ。でも人づてに桂華紋さんが観客がいないからこそその演出を配信でやったらと聞いて、「映像における落語の演出」に気づいた。カメラ

○派手な着物を着しなのは、本寸法な落語をやる落語家だと観客に思われたいように、その説明を省くための手段なのだそうです。
ように見える。「驚とり」で、台の上カメラを置いておき、ジャンプして、上へ消える事で空を飛んだように見える」とかですね。

どれも臨場感抜群です。
たま 三遊亭円丈師匠が「実験落語の会で『いに落語家は座布団を捨てた』というイベントをしたけど、できなかつた」と著書「ろんだいえん」で読みました。配信やと基本はバストアップだし、瞬時に動かないといけないので、机の上にカメラと三脚を立てて、イスに座ってやりま

す。円丈師匠がやりたかったことがここに達成されたかも!?って思いました(笑)。
なるほど。
たま 登場人物が二人だったら一人はカメラ目線にする。マンガの手法です。昔のマンガは「好きです」って言うところを引きで撮ってたけど今は「田中くん……」でコマ割が変わって「好きです」と、女の子がアップになる。肉薄する感じ。生の落語でだけへんことをオンライン

ンでどんだけ入れ込むか。だから「古典落語」という単語が生まれたように、映像落語というのができただけの話で。

新しい落語のジャンルができたのです。
たま しぐさがあるものは大概、演出が変わります。あえて見せないようにするとか。「ガマの油」でも腕を斬った時に、腕は見せない、フレームアウトする。ないところを表情で見せて想像させて血が流れているように見せる。

顔だけ見せる。
たま 逆に言うたら、ずっと二人でたまたましゃべる根拠みたいなものは難しい。「やかん」とか。あんなんは生のほうがええんちゃうかな。やってみたいんですけど。きっと克服できるのでしょうね。
たま しぐさがあるものの方がお客さんは「ほ



大賞を受賞し出演した「花形演芸会スペシャル〜受賞者の会」にて「黙沢」。2018年6月1日、国立演芸場(撮影=横井洋司)

またサバカルという単語がメジャーになってきたけれど、趣味として落語を聞く人が増えていくと読んだんですね。僕が五十(歳)か六十のときにはきつとそうもう四十手前その時代が来ました。読みのほか早よ来たん

「今、寄席では誰が人気なんですか?」っていう架け橋があるんです。上方は落語とテレビが分断されている。
たま 僕らが入った時は「落語聴くって、おかしんちゃう?」っていう時代だったんですけど、上の人らがあることばか言うわけですよ。僕は「歳いたら絶対落語は聴くもんだ」っていう自信があったのとおそらくこれからは趣味の時代、

「京大の落研時代にですか。落研はそのために入ったんです。就職活動として大学の3回生の終わりに。」
たま 兄貴が京大やったんです。理学部数学科でほんま賢かった。京大に行かへんかったら弟はアホやと思われとすよ。高2の終わりに目指したんです。高2の終わりにから1日10時間(勉強)やって。
その思いだけで頑張れます? 普通は諦めてしまっそうですが。たま それはやり方が悪いんやと

う!」ってなりません。
見せたくないところは見せず、フレーム外で想像させるということですね。配信でも、とにかくたま師匠は気をそらさない。
たま あの手この手でね。
生でもそうですが、笑いを取りに行く貪欲さが下がります。
たま 「爆笑」って大事だと思う。うちの師匠、福笑とか笑福亭仁智師匠とかメチャクチャウケてるし、「昔の枝雀師匠は凄かった」と言われてます。もちろん同じネタでもっとウケようと工夫はしていますが、どこかで限界が来ます。ネタは無制限に面白くできるはずですが、自分でメチャクチャ面白くなったと思ふネタを作った場合、その後しばらくそのネタは、さらにメチャクチャ面白くはなりません。面白くはなる



たまのZOOM自宅落語会(8月31日)の終演後、出演者座談のシーン。右上よりふん、露の紫、小泉

「京大の落研時代にですか。落研はそのために入ったんです。就職活動として大学の3回生の終わりに。」
たま 兄貴が京大やったんです。理学部数学科でほんま賢かった。京大に行かへんかったら弟はアホやと思われとすよ。高2の終わりに目指したんです。高2の終わりにから1日10時間(勉強)やって。
その思いだけで頑張れます? 普通は諦めてしまっそうですが。たま それはやり方が悪いんやと

けど、100グラム38000円の肉が39000円になっても、「もうそない味が変わらない」みたいな感じでしょう。どっかで急に75000円になったら変わるんか知らないですけど……。そこまで行くのには時間がかかります。そこで考えたのが「笑いの種類を変え」ることです。「もつと爆笑」ではなく「もつと面白さ」を指したんです。すでにそれをやってたのが円丈師匠でした。まあ私の円丈師匠は「アーティスト作品」ではなく、「商品化」した感じですが。難しく、厳しい挑戦の道ですね。

京大のプラスとマイナス
入門してわずか六年で芸術祭の新人賞をとられ、早いうちから売れましたが、戦略というか、入門5年目までこうして、10年目までこうしてとか、22年目までこうする、みたいな描いていた青写真真つであるんですけど。たま 売れてないです。そんなこと

○「たま」という名前が付けられたのは、ご実家がピリヤード場を営んでいたところから。京大かどうかでお客は来てくれませんか。

取材側は情報として読者にお知らせしたい気持ちになります。

たま 僕以外の京大に行ってる人は賢かったですね。勉強だけでなく、世間というか、世渡り、世の理も知ってる感じですよ。私は高校2年の終わりで普通の生徒で急に思い立って死ぬくらい勉強して京大入りました。他の人もそこまでしなくても京大に入っています。時々「京大やから〇〇できるやろ」と言われても、ほぼ出来ません。賢くないからです。でもその辺を分析できる程度には賢いんです。

なんだかめんどくさいですね。

プロのふりをしている

落語界ってたま師匠の予想の斜め上をいくことをする仲間とか、思いも寄らないことをやる人たちがいて変な人というか……。たま いっぱいいている。

と思ってるんですけど、まだ到達してないことは分かってます。たま師匠のそれはいつの間にかものすごく高い頂上になってますよね。たま そうやと思う。そこまでみんな論理的に考えてないと思います。

たま みんな準備せんでも屈強やし素材がプロやから。僕は準備してないど無理なんです。その違いですわ。生き残れる基礎体力のある芸人さんが多い。みんなしぶといですよ。

お話伺っていると、不器用なのに、傍から見た印象は如才ない器用な男って思われていそうです。

たま そう、それが困ったところでみんなもって世間を知ってます（同じく京大卒の噺家の）（桂）福丸もそうやし、（入船亭）遊京もそうですけど、「こんな言ったらアカン」とか、ちゃんと肌で分かっているんあのの人。何やろ。

師匠はこれからも常に先のことを考えて生きていく気がします。



しょうふくていたま●1975年1月6日生まれ。大阪府貝塚市出身。本名は辻俊介。1998年3月、京都大学経済学部を卒業後、同年4月、笑福亭福笑に入門。出囃子は長崎さき。血液型はB型。受賞歴は2003年、大阪舞台芸術新人賞。2004年、文化庁芸術祭新人賞。2010年、咲くやこの花賞。2011年、なにわ芸術祭新人賞、大阪市長賞、大阪府知事賞、大阪製紙賞。2018年、国立演芸場花形演芸大賞ほか多数。

そういう仲間を愛していて「この人の魅力を伝えたい！紹介しなきゃ一みたいな優しいところがありますね。マクラで仲間の変なところや面白いところを話しています。

たま ちようどコロナ前は自分の成長率が停滞気味やったんで、どうしようか思っていました。今回は映像落語に気づけて良かったですわ。配信だと、外が寒いからとか、足悪いからってというのが、落語を観られない言い訳にならないですわね。冬は寒いし、夏は暑いし。

たま（桂）南天兄さんに聞いたら、「どうやらうちの親とかは、もう生もオンラインも関係ないみたいやな」って。

たま師匠は問題解決にあたり分解して最短距離を考えるクセのようなのもがあつて、その経緯をおろそかにしないでね。

たま それしか「生きていく道具」がないからです。自分は本当に「才能のない素人」だと思ってます。ただの落語ファンが噺家と交じって感じるんです。だから、どうやったらプロに見えるかプロとしてやっていけるかだけを考えると、言っても過言ではないです。分析する癖がついたのかもかもしれません。

筋力っていうか、勉強で手に入れない天然素材や素の能力がある。そういう特殊な能力を皆さんもってではる中で、自分はプロのふりをせなあかんから勉強してる。ずっとプロのふりをしてるんです。だから面白い人に出てもらってお客さんと一緒に「おもしろいなあ」って。

米朝師匠がご存命の時は、落語会が被るわけですから、米朝師匠が言わへんギャグいっぱい言うたらええだけやと思つてました。「誰も言うてないギャグ」を僕だけが言うてるなら、人間国宝よりも僕を見に来なしゃあないようになると思つただから「他人のネタを聞いて、できるだけ言うてないものを考える」ようにしています。

福笑師匠はたま師匠の活躍に何かおつしやいますか。

たま「勝手に好きにやったらええなま」かな。ウケたら正解。入門前に聞いたうちの師匠の「時うたん」でもう息できへんくらい笑うたんですよ。俺が味わつた感動を皆に、

入門のころ

福笑師匠に入門した時はどのようになつていましたか。

たま お昼1時に師匠の家へ行って、掃除してご飯食べさせてもらうって、大体2時半くらい。ルーティーンが二人とも出来上がって、3時から4時半まで稽古。毎日ですよ。その後僕がテプレコーダーから文字起こししたりして、5時に終わって誰かの落語会へ。うちの師匠、ホンマ暇やつたんで。月2回しか仕事してへんかった（笑）。

みっちり見てもらえて、贅沢な時間ですね。

たま 師匠から2年間に22本のネタを付けていただきました。豪放にして緻密、技術的にはひたすら論理的に「我々は守破離を旨とする」みたいな精神論は言うけど、意味のない根性論は嫌います。私より以前に入った弟子が、失敗して自分が丸坊主にしてきたら破門にされた。

「丸坊主と反省は関係ない。根性論か。そんな神経のやつは何も分かんへん辞めてくれ」って。余計怖いでしょ（笑）。僕もいまだにいつ辞めさせられるかわかんへん。東京と違って真打やからもうええとかないんぞ。

たま 才気あふれる師弟です。たま あの方に教えてもらったテクニクが、私の「落語技術の全て」と言えます。口で論理的に説明できる技術は全て言うてくれた気がします。師匠は「あとは面白く思う事をやって、スベったらやめたらええ。挑戦せんとわからんし。また俺がそれは面白くないとか止めても、ひよつとしたら俺が古くなつ



たまの師匠、笑福亭福笑

○たま師は2010(平成22)年3月号の小誌「築コレ」にご登場いただいています。

てるかもわからん。お前の世代の笑いもあるし、ウケたらそんでええ結果が全て。でもアグレッシブに」と。今も師匠が出演する落語会は自分が休みなら見学に行きます。

アフターコロナの落語界

今後の落語界はどうなっていくと思いますか。

たま コロナが落ち着いたら、ライブ中心に一日戻ります。現在、猫も杓子も「やっぱりライブやで」と言いますが、そもそも「ライブで人氣のあった僅かな嘶家」が期待されてるだけです。また熾烈な競争が復活するだけです。笑。人氣のある人は人氣があり、そうでない人はそれなりにです。

— そうかもしれません。
たま ただ、その頃には今以上に団塊の世代が減っています。そうなると、そこを埋めるのは「オンライン」になるはず。オンラインやと家から出にくくなったお年寄り

や要介護の方が全国から参加可能です。団塊の世代が減ったぶん、そこで帳尻が合うと思います。あと落語の台本(記録)はYouTubeなどがあって、それこそ知覚できる技術はたやすく手に入ります。努力をする人は「皆を脅かす一人前」に誰でも早くなれる時代です。新技術は若い世代から生まれます。基本技術は昔より早く手に入る。で、これからは私より若手の時代でしょう。我々は先輩から技術を学んで会得、研究開発していましたが、今後は後の世代が新技術を開発していくと思います。しばらくしたら後輩に頭を下げているいる教えてもらう時代が来ると思っています。今まで先輩にベコベコして、これからは後輩にベコベコしないといけないので、私は不遇の世代です(笑)。
— ご自身に関する予言はないですか？
たま そんな先のこと分かんへん。おじいさんになる前に死ぬんちゃう？(笑)。



小学校の修学旅行にて。
右から2番目がたま。1985年



浪人生のころ



京大落研時代、知らない女性とのツーショット



「彦八まつり」の余興で相撲大会に出場(一番左)。しこ名は「玉金たま」。右は桂三ノ助、行司は旭堂南麟、奥に呼出しの桂坊枝。テント左より桂文鹿、露の吉次。2001年9月2日、生國魂神社



入門してまだ日の浅いころ



お祭りでお友達(左)と



3歳の七五三
1977年

三遊亭円丈(左)が一緒に写真を撮ろうと言ってくれた。2012年7月21日、お江戸日本橋亭

笑福亭たま 全員、自宅から口演!

ZOOM自宅落語会

午後8:00~9:15
(7:30~パンフレットあり)

●11月9日(月)

ゲスト:桂枝太郎、桂佐ん吉、松旭齋天蝶(イリュージョン)

●11月16日(月)

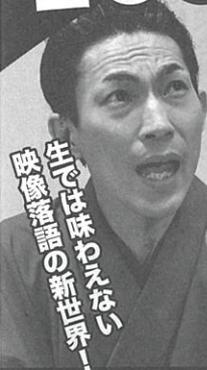
ゲスト:桂米紫、春風亭昇輔、坂本頼光(無声映画)

●11月24日(火)

ゲスト:笑福亭鶴笑、旭堂南海(上方講談)、林家染八

●11月30日(月)

ゲスト:三遊亭遊馬、笑福亭生寿、真山隼人(浪曲)
浪曲ワークショップあり!



映像落語の新世界!

各回:2,000円(事前支払、peatix)

詳細:笑福亭たまライブ情報掲示板

<http://shoufukutei-tama.bbs.fc2.com>

視聴方法:ZOOM(インターネット)

問合せ:たま事務所080-8515-1810

